京都市
CITY OF KYOTO

＜報道発表資料＞
（教育同時）

令和８年１１月１３日
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

令和８年度京都市考古資料館合同企画展
京の色彩めぐり－四神の地にみる五色の記憶－

京都市考古資料館、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所、佛教大学歴史学部、京都芸術大学美術工芸学科文化財保存修復・歴史遺産コースでは、合同企画展「京の色彩めぐり－四神の地にみる五色の記憶－」を開催します。

色は古くから日本人の豊かな表現力に大きな影響を与え、私たちの歴史や文化を彩ってきました。

ここ京都には四方を守護する神獣がいるとされ、西の白虎・南の朱雀・東の青龍・北の玄武の四神に、それぞれ色が割り振られました。そして、「四神」の色と中央を守護する麒麟の色を合わせた五色が定められました。

本企画展では、これら「白・赤・青・黒・黄」の五色に注目し、デジタル技術を活用しながら、京都市内で出土した遺物を中心に紹介します。色という視点から遺物を見つめなおすことで、当時の人々の暮らしや文化、そしてそこに込められた人々の想いを読み解いていただきます。

【実施概要】

- 日　　時：令和８年１２月１２日（土）～令和９年１月２４日（日）
  開館時間：午前９時～午後５時（入館は午後４時３０分まで）
  休 館 日：月曜日（祝日の場合は開館、翌平日が休館）
  年末年始（１２月２８日～１月３日）
- 場　　所：京都市考古資料館　１階特別展示コーナー・階段下展示ケース
  （〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1）
- 入 館 料：無料
- 主　　催：京都市考古資料館、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所
  佛教大学歴史学部
  京都芸術大学美術工芸学科文化財保存修復・歴史遺産コース

【展示内容】
第１章　白の遺物
　白色土器高杯、白磁碗・托、碁石、水晶玉、入れ歯、貝殻、骨製簪、ガラス製簪など
第２章　赤の遺物
　朱精製用具、赤色系土師器、赤絵大皿、ベンガラ付着瓦、焼瓦、土人形、漆器椀など
第３章　青の遺物
　緑釉陶器香炉、青磁酒会壺、青白磁水注、ガラス玉、銅鏡、五鈷鈴、経筒など
第４章　黒の遺物
　黒色土器椀、瓦器椀、天目茶碗、鬼瓦、瓦質人形、漆器椀、炭化おにぎりなど
第５章　黄の遺物
　黄瀬戸碗・盤、金箔瓦、耳環、飾金具、小判、灰おさえ、蒔絵漆器椀、厨子など

<京都市考古資料館へのアクセス>
市バス「今出川大宮」下車すぐ
市バス「堀川今出川」下車　西へ徒歩２分
地下鉄烏丸線「今出川」下車　西へ徒歩 15 分

＜事業に関するお問合せ先＞
京都市考古資料館
電話：075-432-3245　FAX：075-431-3307
お問合せフォーム：https://www.kyoto-arc.or.jp/blog/toiawase-2.html

<報道機関からのお問合せ先>
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
電話：075-222-3130　FAX：075-213-3366